



管理部 企画広報課 課長

## 中村 仁

2024年6月に株式会社さくらの一員となり、現在は管理部企画広報課で課長を務める中村仁。宮城県内の子どもたちに教育の機会を提供するイベントを展開するなど、日々忙しく働いている。活躍を続ける中村は、今日までどのような道のりを歩んできたのだろうか。持ち前の行動力で自らの進む道を切り拓いてきた、その足跡を辿る。

### 新たな挑戦が幕を開ける

高校を卒業後は、伊勢丹新宿本店に就職した中村。カラフルなフルーツに心を奪われてフルーツ売り場への配属を希望し、加工や販売に携わった。やりがいを感じて働いていたが、入社2年目に言い渡された部門異動によって困難に直面する。中村に衝撃を与えたのは、その異動先だった。

「鮭専門店……？」

いと輪には入れません。たとえ拙い英語でも、自分の気持ちを伝えようとする熱意があれば、その思いは必ず相手に届くのだと知りました。

### 次の舞台への 一步を踏み出す

新たな発見に満ちたオーストラリアでの暮らしはあっという間に過ぎ、10か月後には再び日本へ降り立つ。身につけた英語を活かし、また、かねてより幼児教育に携わる仕事に就きたいと考えていた中村は、インターナショナルスクールでの営業活動を開始した。ただ、働き続けていても「何かが違う」と、言いようのない違和感だけが募っていく日々……。

そうした折に出会ったのが、子どもたちの非認知能力を高める事業を展開している大阪の企業だった。「ここで働きたい！」と強く感じたものの、応募条件は大卒以上。高卒の中村は条件を満たしていなかったが、諦めきれず一か八かで

面接を受けた。そこで自身の胸に溢れる熱い思いを語ると、特別枠で内定を手にしたのである。

さまざまな挑戦を続けながら、成長を続けてきた中村。新たなフィールドでは、一体何が待ち受けているのだろうか。

（後編に続く）

### 企業情報

設立年：2012年4月  
年商：11.6億円  
※2022年3月決算時点

### 日本を飛び出し、 広い世界へ

しかし、その後すべてが順風満帆に進んだわけではなかった。優

斬新な発想とそれを形にする実行力、そして店舗をまとめるリーダーシップにより、25歳のときには優秀販売員として表彰を受けた。それがさらなるモチベーションへとつながり、店頭に鮭1本をまるごと置いてその場で切り身にして販売するなど、次々に新たな試みを実施。前年比20パーセントの売り上げアップを達成し、周囲を巻き込みながら破竹の勢いで躍進を続けていった。



渡邊さんの

# 1年に迫る!

48号でご登場いただいた渡邊さんの業務面にフォーカスを当てたこの企画。  
今回は、前職が介護職という全く異なる分野から転職した渡邊さんに、入社以来の1年を振り返りながら、さくらの魅力や今後の目標についてお話をいただきました。



社長秘書  
管理部 人事課 課長  
わたなべ けいた  
**渡邊 恵太さん**



左から林正太さん、伊藤寿雄さん、坂本栞那さん、大宮もも子さん

最も印象に残っている業務は……

## さくらとして初めて開催した安全大会

入社してすぐ、安全大会開催のために総務の方々と会場の配置や資料の準備を行ったことが印象に残っています。また、司会を任されたため、役職者や協力業者の話す順番や内容、時間配分を検討し、運営を行ったことが貴重な時間となりました。

さくらに入社して良かったこと

## 配管を繋ぐことは人の縁を繋ぐこと

配管は人々の生活の基盤になる大切な物。人事課課長として職人さんのサポートを行う立場にいてことで間接的にでもその役にたてることに大変感謝をしています。チームワークを重視し、異体同心の経営理念の通り一致団結して仕事に取り組むのがさくらの魅力。このような環境の中で仕事に取り組めることにやりがいを感じ、さくらに入社して本当に良かったと思っています。

## 今後の目標

- 1 社長秘書として、社長のサポートを含め、業務全面を支援する。
- 2 人事として学校と企業の連携を強化し、優れた人材を採用できるよう努める。
- 3 社員の体制や職場環境の改善をサポートし、皆さんが仕事をしやすくなるよう努める。

社員の皆さんが会社や経営、体制の不明点を直接社長や役員に伝えるのはなかなか難しいことだと思います。微力ではありますが私がその間に入り、皆さんの意見をお聞きます。その際に気持ちを吐き出してもらうことで、意見を会社に反映できるような役割を目指しています。

- 4 社員の内面的なスキルアップを促進する。

組織は外部からの刺激には強い一方、内部から壊れるのは簡単です。社員の満足感や充実感を重要視し、内面的な強化に力を入れたいと考えています。その為にメンタルケアマネジメントや衛生管理者の資格を取得し、精神面に関する知識を深めて、社員の内面をサポートしていきたいと思っています。

- 5 組織の運営

さくらが今急成長をしているが故に、組織運営の体制がまだ整っていない部分があるため、仕組みづくりを進めたいと考えています。トップダウンも重要ですが、部長会や役員会などの会議の定例化を計り、各部の部長、職長が主体となる縦割りでの連携を強化。また、横のつながりも重視し、部長や課長、各課の意見を集約し結論を出すことで役員に判断を仰がずとも各組織検討、完結、報告できる体制を作ります。その結果、検討、決定、実行のスピードを速めたいと考えています。

# 新入事務員奮闘記

今回は、入社してから半年以上が経過した、大宮さんと坂本さんにフィーチャー！  
日々仕事と真剣に向き合い、邁進し続ける2人の「今」に迫ります。

## 入社半年が経過した今の心境

### 効率アップに繋がる風通しの良さ

入社直後に感じていた、社内における互いの心地良い距離感や、活発なコミュニケーションによって生まれる風通しの良さといった印象は、今も変わりません。現在は主に安全書類の作成を行っていますが、右も左もわからなかった状態から、徐々に作成スピードがアップし、処理できる書類が増えてきました。その成長も、いろいろな人から話を伺い、情報をいただくことができた結果だと感じています。

### やりがいを感じた瞬間

#### 作成した書類が認められた!

作成する書類の多さは、現場ごと、元請け会社ごとに異なりますが、以前は2日かかっていたような量を半日で終わらせることができたときは、成長を感じることができました。また、初めて対応する書類を調べたり先輩に伺ったりしながら仕上げた後、現場の方から「完璧でした」と声をかけていただいたときには、達成感を得ることができました。

### 今後の意気込み

書類を作成するには、関わる方との情報共有が不可欠です。私はまだやりとりに不慣れなところがありますが、今後はもっと業界や会社への理解を深め、皆さんとのやり取りをよりスムーズに行えるよう頑張りたいと思っています。ご指導よろしくお願い致します。



工事部・製造部 事務  
おおみや こ  
**大宮 もも子さん**

管理部 総務課  
さかもと かな  
**坂本 栞那さん**



## 入社半年が経過した今の心境

### 業務の流れの把握に必死の日々

毎日決められた仕事を行うことは少なく、依頼されたことに対応するのがメインの業務。そのため、やることは毎日変わります。現状、それぞれの業務の流れを把握することに必死で、まだ慣れていないのが正直なところ。目の前の仕事に集中してしまい、周囲への気配りができておらず、後から気づいて反省することもあります。このような状況でも、先輩方は丁寧に指導してくださるため、感謝しています。

### やりがいを感じた瞬間

#### 不安な気持ちの中に隠れる小さな喜び

まだ慣れない状況の中、一つひとつの業務に対し、「本当にこれで大丈夫だろうか……」と不安になることも。一方で、ホッとする瞬間もあります。それは、私が担当の業務を終え、何も問題がなかったとわかったとき。密かに、「良かった……」と安堵しています。

### 今後の意気込み

皆さんの支えとなり、「この人に任せたい」と思っていただけ存在になることが目標です。さまざまな要望に応え、臨機応変に対応できるようになりたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。